ビブリア

発行　いわき市平上荒川字長尾３０
福島工業高等専門学校
編集　図書委員会　ビブリア編集部
平成元年３月９日

福島高専図書館報第６５号

―― プリンキピア

武田二郎

「プリンキピア」とはかの有名なアイザック・ニュートンの本である。正式の書名はラテン語で「自然科学の数学的原理」（原理は Principiaの訳）となっている。初版が1886年だから 300年以上前に書かれた力学の古典である。先日上京した折、偶然、書店で日本語訳を見つけ、訳本が出版されているとは知らなかったので、ちょっとびっくりするとともに、600 ページ近いずっしり重いこんな大著まで、ラテン語の原本から訳して、コマーシャルベースで出版してくれる出版業界のバイタリティーに感心させられた。ここ数年ニュートンには特別に関心をもっていたので、さっそく一部を購入して手元に置いているが、さすがに通読するほどの元気は出ず、ペラペラとページをめくって眺めている。こんな読み方ができるところが母国語の有り難いところである。

ニュートンに注目をするようになった動機はほかでもない、彼がはじめた初期の微積分の考え方をもっと詳しく知りたいと思ったからである。現在たくさん微積分の本が発行されているが、どれも解説の流儀がほとんど同じで、書きっぷりが大同小異なのがどうも気に入らない。「人を見て法を説け」という言葉もあるではないか。こんなに多くの人が学校で微積分を習うようになったのだから、もっと型の違う教科書があって良いはず、と思うのである。

こんなふうになったのに理由がないわけではない。もともと微積分という数学はイギリスのニュートンとドイツのライプニッツという二人の大天才によって、ほとんど同時に、別々に考えつかれたとされている。はじめてこれに接した世の人にとっては理解しにくく特に流率法と呼ばれたニュートンのやり方は難解だったそうである。それを約 150年の時間をかけて、工夫消化し、現在の形に落ち着いたのである。 1820 年代頃、フランスのコーシーが書いた講義録が現代の教科書の原典で、dy/dx などの記号はライプニッツの流れを汲むものだそうである。

学生諸君は２項定理を知っていると思う。(1+x)の整数べき乗の展開式である。ニュートンはごく若い頃、この式の整数べき乗を分数べき乗に拡げた式を見つけ出している。1/2 乗の場合の展開式がニュートンの墓石に刻まれているという話を、いつか本で読んだことがある。私はこれが気になっているのである。墓石に書かれるということは、彼の思索の中で大事な位置を占めることを意味しよう。微積分を使えば、この展開式はわけなく証明できる。しかし多分真実は順序が逆で、彼ははじめに展開式を知り、それを手がかりにして微積分を考えていったと想像される。そうすれば、この道を辿って、現在よりもっとニュートンに近い、直感的なルートで、微積分にアプローチできるのではないかと、空想するわけである。

ところが、プリンキピアを開いて、期待は見事に裏切られてしまった。どこにも流率法も微積分の式も出ていないのである。著述の形式がたいへん幾何学的である。紀元前 300年ころに書かれたギリシャの幾何の本、ユークリッドの「原論」を模範にし、その様式を真似てかかれていることがわかった。これで、本の表題が「プリンキピア」である理由も納得できた。ニュートンからさらに 200 年後、今世紀はじめから、ヨーロッパの数学はまたまた祖先帰りして、いまは公理主義数学が全盛になっている。ページをめくっていると、あらためてヨーロッパ文化の中に伝わる伝統の強さに圧倒される気分になってくる。

図書館にユークリッドの「原論」と「プリンキピア」を用意して貰うことにしたので、わからなくて結構、いちど手にとって眺めて見ることを薦めたい。

卒業研究と図書館

機械工学科５年
卯ノ木由次

私の卒研は「熱移動の数値解析」というものです。これは、数学と情報処理を組み合わせたものが基礎となっており、自分にとって初めて見るものでした。初めてであるからには、一から学ばなければならず、そのために図書館にはたいへんお世話になりました。しかし、知りたいことが載っている本が必ず図書館にあるとは限らないので、本を注文しなければなりません。そのとき、自分で書店に注文すると１～２週間で来るのに対し、研究室から図書館に注文すると、どういう経路で本が来るのかわかりませんが、１～２ケ月程度かかってしまうので、もう少し速く本を取り寄せて頂きたいと思います。５年生になってからの卒研の時間というのは、最大限とれて約１０ケ月なので、そのうちの１ケ月というのはとても貴重だと思います。

それと、卒研に関係あるものやそうでないものもあるので一概に言えませんが、閲覧室の雑誌のバックナンバーも図書館の奥深くに保存しておくのではなく、自由に閲覧できるようにしてもらえるとよいと思います。雑誌とはいえ、並べると一つの辞典のようになるものもあるので、卒研にたいへん利用しやすくなると思います。もちろん、場所などの問題もあるでしょうから、せめて雑誌を保存する前に、お手数でしょうが、その本の見出しや内容についてチェックした一覧表があればよいと思います。

電気工学科５年
山崎　昇

卒業研究は、幅広い分野での知識が必要であり、そのためにも図書館の役割は、非常に重要なものであると言える。そこで、これから更によい図書館にするための私の意見を述べたいと思う。

１．　専門書について

専門書が古く、数が少ない。これが私のクラスでの圧倒的な意見であった。なかには、規格表が古いため、現在研究しているものが記載されていないという意見もあった。また、すべての項目を網羅はしているが、各項目はについては原理的なことしか述べられていない、一般書的なものが多いため、１つの項目に的を絞ったものがもっと欲しいという印象を受けた。

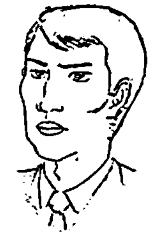
２．　貸出方法について

貸出冊数と期限についてはよいと思うが、問題は貸出方法である。指導教官の印鑑をもらってから、図書館で、また手続きをしなければならないという２度手間の貸出方法を、どうにか改善してもらいたい。

３．　管理方法について

これについては、前回の「ビブリア」にも記載されていたが、コンピューターによる蔵書の管理・検索を実施して欲しい。本があるべき場所にない場合があるため、探すのに非常に苦労してしまったり、ない本を時間をかけて探してしまうことが、今まで何度もあった。そのため、種類別、５０音別、著者別などの検索を充実させ、さらに、貸出し中であるかどうかの判別も可能にすれば、限られた本を、より有効に利用することができるだろう。

以上、これらの早期実現を希望して、私の卒業研究を通じての図書館利用の感想としたい。



工業化学科５年
高橋信哉

みなさんが、ふつう「卒研」という言葉を聞くと、すぐに「５年生」と連想されることでしょう。教習所の「卒検」のことではありません。実際、５年生になると一般科目が少なくなり、その分「卒業研究」の時間がたくさんあります。この卒業研究が大変です。解らないことが解っているこ

目次

プリンキピア	武田二郎　・・１	後輩へ推す一冊	各科５年生・・　５
卒業研究と図書館	各科５年生・・２	編集後記	小林伸吉　・・１５

とよりも多いのです。だから、必然的に図書館で文献を調べる機会が多くなります。

自分の場合は、文献を調べるのが得意でないので、手あたり次第に調べまくるしかありません。ですから、調べられずに解らないままということがよくあります。このように出来の悪い５年生の自分よりも、みなさんの方がよく図書館の利用法を知っていることでしょう。

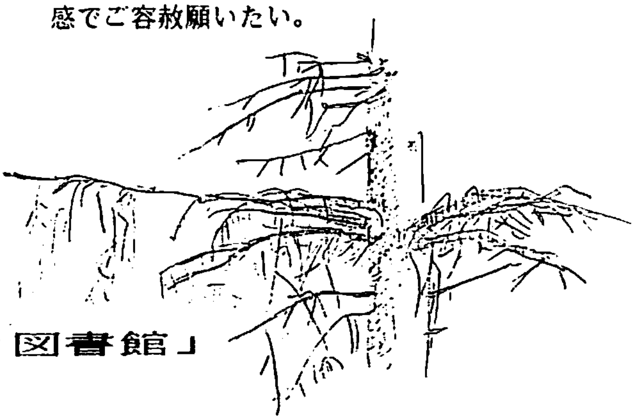
でも本当に解らないことはどうすればよいのでしょうか。自分の場合は、真っ先に先生に質問します。解らないからといって、全部先生に教えてもらおうとすると、たいていの先生は困った顔をされるので、どう調べればよいのかとか、どんな本にのっているかなど、ちょっとだけ教えてもらとよいでしょう。

５年生になると、卒業研究用として一度に５冊の本を一ヶ月も連続で借りられるシステムがあるので、みなさんも利用されるとよいでしょう。がんばって下さい！

土木工学科５年
先崎秋実

卒業研究の目的を「一つの問題を解決するための方法論を学ぶこと」と定義付けたとする。言い換えれば、研究の実習だ。問題を解決するための、無数にある手段の一つに図書館の利用がある。その利用法もテーマによって無数にあるはずだから、当然、図書館への要求も無数にあるデータを探したり、解き方を探しに行ったりという中にも、こじつけかも知れないが、十分に卒研における図書館の役割が果たされている。

ニューミュージック的なクサイ展開であるがこの程度のことしか「図書館と卒業研究」などというテーマに対しては言えないのではないだろうか。卒業研究というものが、高専５年間の教育の集大成なのか。それとも、数多いカリキュラムの一つに過ぎないのか。卒研の本質が、この二通りの解釈のどちらなのかは知らない。どちらでもいいことだ。図書館の改革の動きが活発なのは至極結構なことだと思う。いま、図書館に対して寄せられている不満や要望は、ほとんど卒研を進めてゆく上での図書館に対するそれになる。が、そういう点をいくら改善していっても、「卒研の出来ばえは図書館しだい」ということにはならない。図書館の利用というのは、卒研を進めるための一手段でしかないのだろう。卒研に限って言えば、こんなつまらない意見しか出ないのだが、自分自身、卒研における図書館の利用が少ないので、この程度の所感でご容赦願いたい。



アンケート

「卒研と図書館」

今年の５年生は卒業研究のために図書館をどの程度利用し、またどのような要望を持っているのだろうか。ビブリア編集部は、年号が改まって間もなく、全５年生に無記名のアンケート用紙を配った。回収された148枚（回収率84.5%）の集計は以下の通り。図書委員会では、これらの結果を慎重に検討し、来年の５年生がより多く図書館を利用できるように、環境整備をしたいと思っている。

1．１０月、１１月、１２月（日曜日、祝祭日を除いて約６０日）のうち、卒研のために何日くらい図書館を利用しましたか。

ア．	0日	６０人
イ．	1～ 5日	２６人
ウ．	5～10日	２３人
エ．	１１～２０日	１４人
オ．	２１～３０日	４人
カ．	３１日以上	５人

2．卒研のために図書館の本を何冊借りましたか。

０冊－５０人	１冊－１１人
２冊－１５人	３冊－１０人
４冊－　１人	５冊－１２人
６冊－　２人	７冊－　２人
８冊－　２人	９冊－　１人
１０冊－　５人	１５冊－　３人
１９冊－　１人	

（合計３００冊）

3．卒研のための貸出制度（１人５冊、１ヶ月）は適当だと思いますか

はい	１０２人
いいえ	２１人

「いいえ」の場合、その理由を具体的に書いて下さい。

＊　貸出期間をもっと長くして欲しい。
＊　貸出冊数をもっと多くして欲しい。

4．本校図書館の蔵書は、卒研のために十分だと思いますか。

はい	６８人
いいえ	４６人

「いいえ」の場合、その理由を具体的に書いて下さい。

＊　新刊書の紹介をより詳しく。
＊　新しい本が欲しい。
＊　蔵書が少ない。
＊　データが古すぎる。
＊　福島高専創立以前に出版されたものや、絶版になったものでも重要なものは揃えて欲しい。
＊　示方書（規格）改訂前の、現在では使えない図書が多い。
＊　新しいデータがない。
＊　検索しやすくして欲しい。
＊　図書リストに載っていても書庫にない本が多い（教官研究室にある）。
＊　本当の専門書がない。
＊　最近の技術に関するものがない。
＊　広範囲にわたって多くの種類の本があるが、１つのものについて詳しく調べようとすると、本が少なすぎる。
＊　応用するための参考設計例がない。
＊　卒研のテーマに合った本がない。
＊　役立つ本が少ない。
＊　コンピューター関係の新しい技術を扱った本がない。
＊　コンピュータープログラムの本を増やして欲しい。
＊　コンピューター、メカトロ関係で、必要に耐えられるものは皆無である。
＊　ＣＡＤ，ＣＡＭの具体的な利用方法、作成方法に関するものがない。
＊　ダイオード、ＩＣなどの規格表が古い
＊　必要な専門書・統計書等がない。
＊　可視紫外吸収スペクトルの本がない。
＊　溶媒の本がない。
＊　生化学関係の新しい本がない。
＊　スパッタリング関係の本がない。

5．図書閲覧室に、過去２年分の卒研の論文集があることを、知っていますか。

はい	５３人
いいえ	８４人

6．今回の卒研の準備のために、その論文集を参照しましたか。

はい	１６人
いいえ	１０４人

7．卒業研究のために利用しやすい図書館にするにはどうしたらよいか、個人的な意見を書いて下さい。

＊　図書館をもっと入りやすく。
＊　空調設備の設置。
＊　書庫と閲覧室を一緒にする。
＊　開館時間の延長。
＊　窓口サービスの改善。
＊　コンピューターによる管理・検索。
＊　書庫の通路を広く。
＊　図書館内部をもっと整理。
＊　喫茶室の設置。
＊　コピー機の設置。
＊　帯出票の廃止。
＊　貸出手続きの簡略化。
＊　学生にも図書購入希望の機会を。
＊　一般教養図書と較べて専門書が極端に

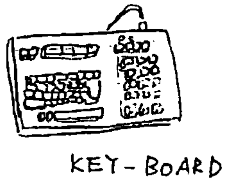
少ない。
* 詳しい専門書を増やす。
* 古い本は他の場所に移し、最新の専門書をどんどん購入して欲しい。
* 破損している本が多い。
* 卒研のための貸出制度のＰＲ．
* 指導教官の印鑑の廃止。
* この際、卒研廃止。
* 卒研コーナーを作り、ワープロ、コピー機を置く。
* 必要な本は先生の研究室にあるので、図書館は重要ではない。

以上

後輩に推す一冊

この３月に卒業する５年生が後輩諸君に推薦する本。世界の古典からマンガまで。図書館で購入して欲しいものがありましたら、受付に備付けの「申込書」に必要事項を記入の上、入口のポストに入れて下さい。

機械工学科



赤石秀二

妹尾河童著
「河童が覗いたヨーロッパ」
ヨーロッパ各地の様子をスケッチと短いコメントでまとめた、たいへん風変わりな紀行文。

荒　靖男

喜国雅彦著
「傷だらけの天使達」
現在もヤングサンデーに連載中の人気作品で作者初の単行本。随所に見られるユーモアの中に友情、平和、愛、青春などを盛り込んだ近年まれにみる秀作。Ｉ’ｍ　ｏｎ　ｍｙ　ｗａｙ．

石橋勝進

フリデリック・ポール著
「ゲイトウエイ」
物語はちょっとむずかしいけれど、ニューロコンピュータに興味がある人だったら、結構楽しめますよ。

卯ノ木由次

スティーヴン・デイヴィス著・中江昌彦訳
「レッド・ツェッペリン物語」
悪魔にとりつかれた男たちの話。
あぶねーぜ！

大内丈士

田中芳樹著
「銀河英雄伝説」全１０巻
舞台は無限の銀河、星の大海の中で帝国軍の”皇帝”ラインハルトと自由惑星同盟軍の”魔術師”ヤンを始め、男たちの戦いと生きざまを書いた物語。ＳＦ好きにおすすめ。

大輪孝夫

田中芳樹著
「銀河英雄伝説」全１０巻
未来の事を書いたＳＦである。
英雄と呼べる人物達がどのようにして歴史を変えようとしたかがおもしろい。
とにかくスケールが大きい。

鶴庭和正

スタンダール著・大岡昇平訳
「恋愛論」

題名から想像するような嫌らしいものではない。
一、第１章３ページで感動し納得できる。
二、哲学と心理学の勉強になる。
三、後輩だけでなく、先生方にも勧めたい。

菅野孝志

大橋雄守著
「雲の上は明日も青空」
虹には「８番目の色」があるのを、あなたは知っていますか？

「血友病」という難病であり、片足切断の苦難にも負けず、生き抜く人の感動の作品！

久保田豊

著者　多数

「三国志」

単行本にもなってるし、マンガにもなってるし、その上ゲームにもなってるほどの有名なお話である。一度ぜひ読んでみては！

玄葉佳則

村上春樹著

「ノルウェーの森」

読んだあと、暗い気持ちになれます。

後藤政和

巨人軍担当記者著

「王監督が怒った」

４年目にしてリーグ優勝を果たした王監督だが屈辱の４年間と言っていい、江川との闘争、サンチェの無気力、日本シリーズ王と森の違い、４番原のバント等、興味を引く内容である。

小林高志

佐々木譲著

「南の風にモーニン」

海の輝く大自然のバリで繰り広げられるラブストーリー。バイクと自然と旅をこよなく愛する方へお勧めの一冊。

小針和秀

赤川次郎著

「埋もれた青春」

著者の最新短編小説。

本のきらいなあなたも、何かおもしろい本がないかと悩んでいる君も、この本を読めばきっと満足するヨ！

斎藤　仁

池田大作著

「私の人間学」上・下巻

ナポレオンをはじめ歴史上の偉人の生きざまを通して、日常の生活から、自らの一生まで明確にできる本です。今やミリオンセラーとなったこの本！あなたも是非一度読んで下さい！

酒井清次

「ヤング　マガジン」

今は、第一、第三月曜日発売だけど、４月からは毎週発売になる。

よかった。よかった。

佐久間貴

スティーウ゛ン・キング著

「スタンド・バイ・ミー」

同名映画の原作。死体探しの旅に出た４人の少年達が体験した、苦難と恐怖の二日間を描く感動作。

佐久間由哲

村上もとか著

「六三四の剣」全２４巻

これを読むと剣道の真髄がわかって強くなったような気がする。

佐藤　純

著者不明

「ＦＯＲＥＶＥＲ　ＥＣＳＴＡＳＹ」

思春期のあなたへ、必読。

一度読んだらやめられない。

佐藤浩幸

池野恋著

「ときめきトゥナイト」

あなたときめいてますか？蘭世ちゃんはいつも元気です。君も真壁くんの様ないい男になりたいなら、この本をおすすめしたい。

須川健一

西村京太郎

「十津川警部の挑戦」

この本に限らず西村京太郎の小説はおもしろい。　推理小説ファンなら一冊は読んでみるべし。

先崎国満

猪熊滋悟郎著

「柔の道は一日にして成らずぢゃ」

単なる柔道の入門書を超えた不朽の名作。

これを読んでバルセロナをめざそう！

只今、著者のサイン入り、いますぐ書店へ。

高橋　修

ちば　てつや

「おれは鉄平」

野生児、鉄平が山から下りて来て、天性の運動神経と、抜群のギャンブルセンスをもって、

学園生活をかきまわすといった一見変わった青春マンガ。

田中英幸
狩無麻礼＆たなか亜希夫著
「迷走人ボーダー」
こんな生き方、あこがれるぜ。

田中正範
フリデリック・ポール著
「ゲイトウェイ　１、２、３」
複数の物語が同時進行して行くというめずらしい方法なので、最初読むとわけがわからないかもしれない。でも読み進めるうちに、いつのまにか君もゲイトウェイになってゆくだろう。

西　康一
「ヤングオート」
２００円で一ヶ月楽しめる本。

飛田　聡
村上春樹著
「ノルウェーの森」
必読！！

星　尚幸
上條淳士著
「ＴＯ－Ｙ」
言わずと知れた上條氏の代表作。
あまりに有名なので内容は知ってるだろう。ところどころにボケが効いていて笑える。他に「ＺＩＧＧＹ」、「ＳＥＸ」などもＧｏｏｄ！

堀江恭史
村上春樹著
「ハードボイルドワンダーランド」
今、トレンディーでパワフルな作家、村上春樹の問題作。ノルウェーよりヘビー。

松島敬治
三浦綾子著
「道ありき」
愛と感動の小説。

宗像亮司
「日刊スポーツ」
よく当たる。

森　俊司
中森明夫著
「東京トンガリキッズ」
涙、涙、感動、感動の SUPER SPECIAL STREET SHORT NOVEL.

門馬秀之
小林まこと著
「１、２の三四郎」
三四郎とその仲間達による感動、そして笑いのある熱血漫画。

山内達男
片岡義男著
「彼のオートバイ　彼女の島」
とにかくバイクにのってどこか遠くへ行きたくなる。

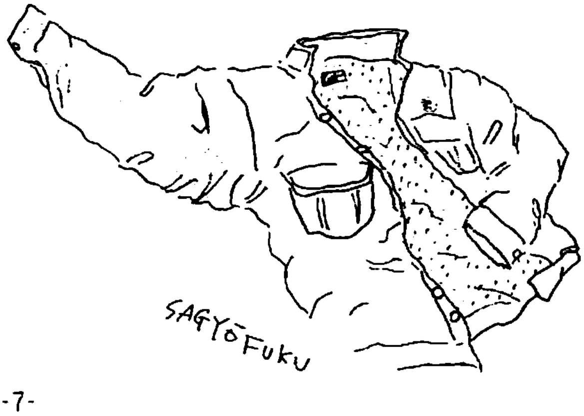
吉田茂樹
村上春樹著
「ダンス・ダンス・ダンス」上・下巻
ノルウェーの森を読んだ人ならもちろんそうでない人も読んでみてミ！

吉田信稔
水城昭彦著
「ぼくたちのサマー・メモリー」
緑の風が吹く牧場・ひと夏の恋と友情の物語。一度、体験したいようなストーリー。

電気工学科

１　阿久津貴之
「ナインストーリーズ」
Ｄ．Ｊ．サリンジャー著
少し異常な世界

２　天野　紀行
「ソニーの大逆襲に松下電器があせる理由」



小林紀興著
ＡＶ市場をくわしく知ることができた。

３　荒井正之
「幻魔大戦」　平井和正著
この本は、ＳＦ小説です。しかし、内容は、現実味を帯びています。この本の面白さ、魅力は、作品中に見られる主人公達の科白にあります。ＳＦだからと、バカにせず一度読むことをお勧めます。

４　氏家　保
「老人と海」　ヘミングウェイ著
主人公と巨大カジキとの数日間にわたる死闘、そして意外な結果、闘いを通して、男の生き様がわかる。

５　浦山　敏
浜田省吾ストーリー「陽のあたる場所」
田家　秀樹著
浜田省吾の魅力満載。好きな人は読んで下さい。
「人間失格」　太宰　治著
生まれてすみません。

６　大滝　研二
「首相暗殺」　ロバート・カッツ著
モロ首相誘拐の内幕！！’７８年に起きたイタリア首相誘拐事件。政界一の実力者を見殺しにする政治家達の打算が恐い！！

７　大和田　泰次郎
「我が闘争」（上・下）
アドルフ・ヒトラー著
当時のヒトラーの思想を理解するには最良の本である。
「夏の情婦」　佐藤正午著
青春のささやかな情熱と、やるせない思いを綴った青春小説

８　加藤　卓也
「風よ、鈴鹿へ」　島田伸助著
まだ読んでない！！

９　加藤 英昭
「ラスト・ラップ（Ｌａｓｔ　ｌａｐ）」
矢沢　翔著
そうさ、ひとつだけ言えることがある。
「俺は、バイクに惚れている」

１０番　金賀　芳
「風よ、鈴鹿へ」　島田伸助著
ドラマ化された程、とってもいいお話です。
「涙のバレーボール」　堀内真人著
日本バレーボール協会　推薦！！

１１　栁田　俊一
「朝日新聞」　朝日新聞社
これを読まないと時代について行けないぞ。

１２　熊谷克宏
「冬物語」　原秀則著
こういう人達も世の中には、いる。
「ドラえもん」　藤子不二雄著
私の自伝です。

１３　黒木久道
「Ｃ調アイドル大誤解」
林　明美著　真鍋公彦画
アイドルの人名、用語を辞典形式で解説。
アイドルの昭和史とも呼べる一冊。

１４　小林 公明
「機械・春は場車に乗って」
横光利一著　新潮文庫　３２０円
こいつは、いい。

１５　小林　基彦
「羊をめぐる冒険」上・下　村上春樹著
村上春樹のデビュー３部作の１つ。
春樹の世界を体験できるよ。
あなたも羊男になれますよ。

１６　酒井昭実
「おもしろい物理学」　ベルリマン著
物理がほんのちょっと好きになれる。

１７　佐藤徹也
「竜馬が行く」　司馬　遼太郎著
志士は　こうがくに　在るを　忘れず
勇士は　その元を　失うのを　忘れず
「大国の興亡」　ポール・ケネディ著
「伝記　佐藤徹也」　大楽　美由紀著
これを読まずして徹也は語れない。

１８　佐藤　安章
「ルルの館」　川西　蘭著
作曲家の僕と女医の妻、そして魅惑的な少女ルルが繰り広げる不思議な感覚の愛の物語。

１９　澤田勝樹
「世界が日本の宇宙産業にふるえる理由」
小林紀興著
いずれ日本が世界に君臨する日がくるであろう。

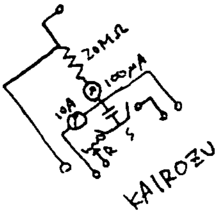
２０　杉浦　和憲
「シップキラー」　上・下
ジャスティン・スコット著
今まで知らなかった興奮が味わえるであろう。

２１　鈴木　光一
「こちら葛飾区亀有公園前派出所」
ー下町奮戦記ー　　　秋本治著
この本は、作者の秋本治氏が６００数本の中から選びすぐったこち亀の集大作です。下町ａｎｄギャグの世界をぜひお試し下さい。

２２　鈴木隆明
「三国志の人間学」
成功した人達と三国志の登場人物には共通点が・・・。
「狼の紋章」　平井和正著
１０年以上は軽く生き抜いたロング・セラー。描写が鋭い。

２３　鈴木　孝文
「ウインディー」Ｉ、II　泉優二著
感動のオートバイロマン。
バイクに乗らない人にも。

２４番　鈴木　由香子
「氷点」　三浦綾子著
読んでみるといいと思う。



２５　大楽美由紀
「ネコの手貸します」　入江紀子著
あなたの右手はだれでしょう・・・。
「わかりやすい恋」　銀色夏生著
たまにはこんな本もいいでしょう。わかりやすくないけど。ちなみに写真のモデルは、森高千里だよ。

２６　田中　正明
「それから」　夏目漱石著
映画を見た人も、もう一回読んでしみじみして下さい。

２７　田場川義裕
「オリエント急行殺人事件」
アガサ・クリスティ著
これは面白い。推理小説の鏡である。

２８　長　太朗
「Ｆ１地上の夢」　海老沢泰久著
世界最速のＦ１ターボエンジンを造ったＨＯＮＤＡのエンジニア達のお話です。

２９　中村　実也
「冒険してもいい頃」　みやすのんき著
感動と悲しみのＡＶロマンを巧みな技法を用いた話題作。

３０　永山　昌徳
「魔戦記」　菊池秀行著
古代ギリシアの伝説が現代の日本に！
「信長の野望・全国版」
「戦国武将列伝」
「覇者への道」
「戦国兵法書」　　　シブサワ・コウ著

３１　新妻　義孝
「指輪物語」<全６巻>
Ｊ．Ｒ．Ｒ．トールキン著
中つ国という世界に繰り広げられる壮大なファンタジー。

３２　沼田　勝則
「Ｏ・ヘンリ短編集」（１～３）
人生のさまざまな断面にスポットをあて、軽妙な表現で巧みにまとめた短編集です。

３３　橋本　聖昭
「私の人間学」　上・下　池田大作著
ベストセラー。読む価値はある。

３４　橋本 孝治
「おニャン子白書」　フジテレビ出版著
今は懐かしいおニャン子ＣＬＵＢ・・・その華やかさの陰に隠された実態が生々しく記された一冊である。

３５　服部　和幸
「週刊プレイボーイ」　集英社刊
２０歳の幸せです。

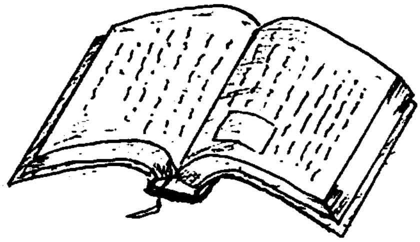
３６　藤原浩一郎
「悪魔の飽食」　森村誠一著
旧日本軍の人体実験の全て・・・

３７　本田　吉朋
「刑事コロンボ」シリーズ
Ｗ・リンク＆Ｒ・レビンソン著
「仮面の男」では、コロンボとＣＩＡのやりとりが特におもしろい。他に、「別れのワイン」や「忘れられた女」なども面白い。

３８　森　正司
「そして誰もいなくなった」
アガサ・クリスティ著
これぞミステリー

３９　森　勇二
「同級生」　柴門ふみ著
大人の愛ってやつですか。

４０　八木　和夫
「真田太平記」　全１２巻　池波正太郎
武田家滅亡後に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などが全国統一していく中を真田親子が生きて行く様が描かれている。



工業化学科

相田　正之
「犯罪の心理学」
犯罪の心理が的確にわかる

天井　敏則
「論語」－孔子－
昔の今も人間の本質は変わらないことが分かる。

嵐　鈴恵
大和　和紀
「あさきゆめみし」
あの源氏物語があきずによめる！！

４１　矢沢　要一
「幻獣少年キマイラ」　夢枕　獏著
この本は、シリーズ物なので、金が続かなくなります。
「化石の記憶」　たがみ　よしひさ著
この本は、「高い、でかい、面白い。」

４２　山崎　昇
「風立ちぬ」　堀　辰雄著
ヴァレリーの詩句を踏まえたこの作品は、生きることより、死ぬことの意味を問う作品で、同時に、詩を越えて生きることの意味を問う作品でもある。特に、最終章「死のかげの谷」は叙情的散文の傑作である。

４３　吉沢　弘行
「竜馬が行く」　司馬遼太郎著
大事を成す人物と言うのは、どの様な人物なのか。出来るだけ早い時期に読むことを薦める。
「２００１年　宇宙の旅」
Ａ．Ｃ．クラーク著
宇宙的視野が得えられる。

４４　吉田　幸夫
「暗殺者」　ロバート・ラドラム著
「第四の核」
フレデリック・フォーサイス著
これさえ読めばあなたも世界を支配できる。

４５　渡部　光男
「人類ネコ科」　水谷なおき著
この本を笑わずに読める君は天才だ！！
「役員室午後三時」　城山三郎著
もし、君が経営者をめざすのならば、必見の一冊でしょう。

有我　宏和
五木　寛之
「雨の日には車をみがいて」
男にとって最も興味がある車と女の微妙な関係がおもしろい。

江尻　渉
「ナッツ」
ナッツとは変人という意味である。主人公公が殺人を犯すが、裁判は殺人に対してではなく、主人公の裁判能力について行われる。る。主人公ふがいない弁護士を味方につけ、自

分に能力があることを主張する。

遠藤　仁洋

集英社

”Ｆｒｉｄａｙ”

話題が広がる。

遠藤　浩幸

川上　恭正

「離婚大国ソ連の女性に何が起こったか」

日本とソ連の女性の考え方の違いが明確に記されており、お国柄の違いを痛切に感じた。

大平　国光

”Ｎｕｍｂｅｒ　７７７”

各スポーツ界のスーパースターの生き方に感動する。スポーツにおすすめの本です。

大和田　佳明

小山内　美江子

「すばらしき遭難」

中学時代に読んだものだが、皆さんにも一読をおすすめする。

押部　浩明

谷崎　潤一郎

「痴人の愛」

禁断の世界に引き込まれていく。

樫村　勤

「タウンページ」

引けそうで引けない。

勝倉　隆文

Ｊ．Ｒ．Ｒ．トールキン

「指輪物語」

かなり前から発行されている本で今までいろいろなファンタジーの小説（日本、外国を含めて）に多大な影響を与えそっちのほうに興味がある人なら誰でも知っている（？）というような本である。

上遠野　奈子

「ビジネス・エチケット入門」

常識を知らな過ぎる私たちにとても役に立つ一冊、就職前にあなたも是非どうぞ。

草野　昌谷

ドナルド　トランプ

「ドナルド・トランプ　自伝」

アメリカの大統領になる男だ！

小泉　晃一

片岡　義男

「マーマレードの朝」

暴力団抗争の話。オチがお洒落。

後藤　康範

夢枕　獏

「餓狼伝」

一気読みができる程おもしろい。

小林　寿弘

「ぼのぼの」

登場しているラッコのぼのぼの、シマリス、あらいぐま君、プレーリードック君、フェネギー君に人生とは何かを考えさせられる。

坂本　浩之

夢枕　獏

「キマイラ　吼」シリーズ

読みやすいので、短時間で一冊がおわってしまい、次の巻が読みたくなる。

佐藤　洋

「壁にぶつかったら、読む本」

何をやっても成功しない時、これを読めば成功する。

清水　正光

山田風太郎

「伊賀忍法帳」

奇想展開でおもしろい。

庄司　栄治

「新聞」

世の中の動きや、今、話題になっている事が分かり、自分の考えで、社会を見る事が出来る。

高橋　信哉

広瀬　隆

「眠れない話　刻久と迫りくる日本の大事故」

現代科学の粋を集めた原子力発電の隠された恐怖心を暴く！

竹田　里美

村上　龍
「トパーズ」
女性のみなさんへ

永峯　登美子

田辺　聖子
「窓を開けますか」
現実的で、ホッとする。

筥崎　雅充

星　新一
「夜のかくれんぼ」
いま、ショート・ストーリーがおもしろい。

松崎　正寛

片岡　義男
「限りなき夏　１」
ハワイが舞台のサーフィンの小説であり、夏と海とサーフィンが好きな人におすすめの１冊。

松本　ステキ

大隈　道昭
「ベン・ジョンソン物語」
昨年、一番全世界を騒がせたにもかかわらず、余りその生い立ちは知られていない。この本は彼の素顔を知るうえで最もよいだろう。

松本　　祥英

「伊勢物語」
恋愛小説の元祖中の元祖！

水野　雅文

「ビジネスマンの父より息子への３０通の手紙」
ためになるよ。

宮本　義則

栗本　薫
「猫目石（上・下）」
解り易い推利小説。

横江　朋子

「人間失格」
題名にしても内容にしても、まるで自分の事を書かれているような気がして他人事とは思えなかった。

吉田　道子

新井　素子
「今はもういないあたしへ・・・」
この人の本はみんな好きだけど、これは一番最近、読んだもの。結構、考えさせられます。

渡辺　和彦

緑川　享
「岩波コンパクト六法」
今のうちに民法ぐらいはおぼえよう！

渡辺　浩幸

「原子力発電は必要なのか？」
原子力発電は実は、ものすごくお金がかかって、危険なものだと考えさせられたから。

渡辺　道江

高橋　留美子
「人魚の森」
一番気に入っている本です。

薫谷　由美子

「バリアストリックス減量法」
やせたいあなたにお勧めします。でも、本を読んだだけでは、痩せられません。（本の効果は私が証明します。卒業式で注目して下さい）

リサイクル文庫創設にご協力を！

図書委員会

ビブリア６４号で提案のありました「リサイクル文庫」が平成元年？月？日から利用できるようになります。現在、準備作業を進めておりますが、なにぶん予算ゼロで運営する趣旨ですので、各方面からの寄付をお待しております。特に卒業する諸君は、それぞれの任地に引越すとき、不要となる図書類をぜひ後輩のために残して行って下さい。当分の間、土木棟３階小林研究室の前に段ボールの箱を置きますので、その中に寄付してもよい本を入れて下さい。文庫本、単行本、参考書、コミック、その他何でも結構です。（ただしゴミはお断りします。）

土木工学科

1番　愛川 克己
渡辺淳一　著　「峰の記憶」
大雪山新縦貫道路建設を題材として、開発と自然保護とのかかわりあいが書かれている

2番　阿部 弘明
スティーブン・J・グールト 著
渡辺 三中 訳（早川書房）
「ニワトリの歯」（上、下）
「シマウマは黒地に白い縞があるのか、それとも白地に黒い縞があるのか、」
君はわかるかな？！
この本に答えが書いてあるよ。

3番　猪狩 京子
「Ｃａｎ　Ｃａｎ」（小学館出版）
内容豊富で、おちゃめな月刊誌。

4番　石川　武彦
「極楽スキー'89」（小学館）
スキーが好きなら、この本を是非！”ゲレンデ社交術””上手な初心者の教え方”は、バカ受け。絶対スキーをしたくなるぜィ。

5番　岩渕 政勝
シドニー　シェルダン 著
「ゲームの達人」
ある一家　3代に起こるさまざまな出来事。今、アメリカだけでなく世界中で売れに売れにれに売れている本！
一見の価値はあるゾ！！

6番　上田 栄治
広瀬　隆　著
「東京に原発を！」（集英社文庫）
”Atoms for Peace”の名のもとに造られ稼動している原子炉の数は，現在全世界で300基以上である。まだ記憶に新しいソ連チェルノブイリ原発の事故は確率的事故なのである。

7番　大嶋　直人
Ａｒｔｈｕｒ　Ｈａｉｌｅｙ著
「自動車」（新潮文庫）
ミシガン州デトロイトの自動車業界におけるさまざまな人間関係が描かれている本だ。読むか読まないかは、人それぞれだ。俺はこの本をすすめる。

8番　大平 勉
生田 直親 著「青函トンネル大爆裂」
（徳間書店）
おもしろいからぜひ読んでくれ。

9番　大和田　勉
作者不明　【ＤＲＩＶＥＲ　】
この本は、車の本です。
ドラテクがマスターできる？

10番　押山　弘之
「ＣＡＲトップ」
「ドキリン土屋圭一のドラテクが毎月載っている」
さあ、みんなでドラテクをマスターしよう。

11番　小野 俊一
「週刊 プロレス」
（週刊ベースボールマガジン社）
毎週、最新のマット情報を満載。それでいて値段も 290 円と最高にお徳！絶対に買いだ。最後に、これを読んでいないプロレレスファン、きさまたちはもぐりだ！

12番　片寄　和彦
星　新一　著
「声の網」
短偏の名手、星 新一の作品、
一度じっくり味わってくれ！

13番　金成　芳美（男）
著者　ＮＨＫ　『おかず３６５日』
これから男が料理の主役だ！！！

14番　亀崎　政徳
杉山　敏隆 著　（若林出版）
「東京湾埋立論」
とにかく読んでみてくれや！！！

15番　木村 明彦
「浅香 唯 写真集」
ま、いいんじゃないっすか？

16番　小池　猛雄
川本 三郎 著　（キネマ旬報社）
『ダスティン・ホフマンは
「タンタン」を読んでいた』
映画の好きな人は、読んでみてください。

映画が、さらにおもしろくなってきます。

１７番　佐々木 晋
著者：真壁 仁
写真：薗部 澄
「カラー会津の魅力」
会津の魅力が写真でわかりやすく説明されている。

１８番　佐藤　浩一
高橋　裕著
「都市と水」（岩波新書）
・水問題に興味のある人は読んで損はない

２０番　志田　欣也
「ＧＯＧＧＬＥ」
これは、バイク雑誌で最高の本だ！！

２１番　庄子　宗男
村上　春樹　著
「風の歌を聴け」
@@@@
風の歌を聴いてくれ
そして．．．
@@@@

２２番　先崎　秋実
狩撫　麻礼＆たなか　亜希夫　著
「迷走王　ボーダー」（双葉社）
ＵＦＯ・「戦後の詩」・ボブ・マーレイ。

２３番　中山　康士
三浦哲朗 著　（新潮文庫）
「まぼろしの橋」
これを読んで純愛を勉強しよう。

２４番　成田 信太郎
落合 信彦 著
「ザ・スペシャリスト」
おもしろい。

２５番　根本　宏伸
Ｗｉｌｌｉａｍ　Ｒ．Ｐｏｇｕｅ 著
「宇宙でトイレにはいる法」（筑摩書房）

宇宙で見たもの、考えたこと、感じたこと、宇宙開発の行先、それに、かいた汗が背中でブルンブルン揺れる話や、ウンコがプカプカ漂う事件など楽しい話が沢山です。

２６番　野口 勇市
大浜 一之 著
「建築・土木の雑学辞典」
（日本実業出版社）
おもしいろくて、ためになる。

２７番　橋本 隆
「ラグビーマガジン」
図書館にないため買って読んでください。

２８番　東　勝利
小学館 出版　「ＤＩＭＥ」
これは、まさに時代の最新トレンドを追っかけている雑誌だ。

２９番　古川 進一
キングスレイ・ウォード 著
城山 三郎 訳
「ビジネスマンの父より
息子への３０通の手紙」
社会人に成る前にぜひ読んでほしい。

３０番　松村　みどり
井上　靖　著　「しろばんば」
この作品は、豊かな、伊豆の自然の中での話しです。毎日の学生生活が何となくかったるい、おもしろくないと感じている人にはぜひ読んで欲しい。そして、新鮮な感情や活力を取り戻して欲しい。

３１番　松本　万資
フィリップ・チェスターフィールド　著
『わが息子よ、君はどう生きるか』
・父親が息子に贈る人生最大の教訓。
自己反省のいいきっかけとなると思います。自分のライフスタイルを省みて下さい。

３２番　山口 孝太
ポール・ボネ　著　（角川文庫）
「不思議の国ニッポン」
在日フランス人の目で見た日本観がおもしろおかしく書かれていて、読みやすさとひまつぶしにもってこい！！

編集後記

Desk-Top Publishing の２号目。今回は、卒研と最後の試験で忙しかった５年生に活躍してもらった。「後輩に推す一冊」はクラスごとに１枚のフロッピーディスクを用意し、図書委員を中心に、原稿を直接パソコンに打ち込んでもらった。また、この号のイラストもすべて５年生の手になるもので、彼らにとっても、よい思い出になるのではないだろうか。

自分の仕事が人の目に触れ、後に残るということは、それ自体、励みになるもので、一度勇気を出して「ビブリア」に投稿してみてはどうだろか。はじめの「気恥ずかしさ」さえ乗り越えれば、あとは以外と楽なものである。誰でも心の中には、まわりの人に伝えたいもの、解って欲しいことなど持っているものだが、それをうまく表現するのは確かに簡単ではない。しかし、それをただしまっておくことは、兼行法師の言うとおり「腹ふくるる業」であり、ストレスのもとでもある。故に、「ビブリア」への投稿は精神衛生のためにもいへん良いことと思われる。

01/03/1989　小林伸吉